

第 10 回九州学生陸上競技新人選手権大会 申し合わせ事項

1. 駐車場について

本大会においては、駐車場として使用できる場所に制限がある。詳細は、本連盟のホームページに掲載する「駐車場利用について」を確認すること。

2. 競技場を使用する際の注意点について

- (1) 競技場図は、「申し合わせ事項」の最後に掲載している。
- (2) 更衣室とシャワールーム、ゴミ箱の使用を禁止する。ゴミ袋を出場校受付の際に配付するので、清掃を徹底して行い、競技場で生じたごみは各大学が責任をもって持ち帰ること。
- (3) 競技場内のすべての場所において、大学ごとの場所取りを認める。ただし、他の大会参加者等の迷惑にならないよう十分に注意すること。また、シート等を固定する際は、必ずひもまたは養生テープを使用し、ガムテープやクラフトテープ等を使用しないこと。なお、大会期間中、大学ごとの荷物は閉門後競技場に置いて良いが、紛失や破損等が生じた場合、主催者及び競技場の管理人は責任を負わない。また、強風時はテントを畳み、荷物をまとめるなどの対処を各自で行うこと。

※周辺の施設利用の妨げにならないように注意すること。

- (4) 部旗・横断幕は、まわりの迷惑とならないようにする等、大会運営上の不都合が生じない範囲で、バックスタンドへ掲出することを認める。ただし、部旗・横断幕を掲出する際は、必ずひもまたは養生テープを使用し、ガムテープやクラフトテープ等を使用しないこと。また、掲出できるのは、各日ごとに開門時間から閉門時間までの時間帯のみとする。
- (5) テントは、サイドスタンドとバックスタンドの後方のみ設置を許可する。メインスタンドおよび競技場の外にテントを設置することは禁止する。テントを設置する際は、風でテントが飛ばされることがないように十分な固定を行うこと。また、他の大会参加者等の通行および観戦の迷惑とならないように注意すること。
- (6) 全体応援は、特定の大学がスタンドの広い範囲を独占したり、スタンド通路の通行やトラック競技のスタート、フィールド競技のコーチング等の妨げとなるような応援をしたりする等、他の大会参加者の迷惑とならないように十分に注意すること。
- (7) 競技場内のすべての電源の使用を禁止する。
- (8) 競技場は全天候舗装であるため、スパイクは全天候型トラック並行ピンを使用し、長さは 9mm を超えてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は、使用するスパイクピンの長さは 12mm を超

えてはならない。

- (9) 当該競技の出場者以外は競技区域内に立ち入ってはならない。注意に従わない場合、その大学に所属する選手のそれ以降の競技の出場を認めない場合がある。
- (10) 競技場内での写真および動画の撮影について、選手のプライバシーおよび肖像権を保護するため、大会関係者および主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。許可なく撮影している者を発見した場合、厳重に処分する。詳細は、本連盟のホームページに掲載する「写真および動画撮影についての注意事項」を確認すること。
- (11) 競技者は、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話、スマートフォン、もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用してはならない。そのような競技者は、助力を与えたり受けたりしているとして競技役員によって警告される。さらに助力を繰り返すと、その競技者は失格となる。なお、その他の競技者に対する助力については、2025年度日本陸上競技連盟競技規則TR 6を確認すること。
- (12) 医務室の場所は、競技場図を確認すること。なお、競技中の発病・負傷に関して、主催者側で応急手当は行うが、それ以上の責任は負わない。ただし、競技者は、2025年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員であり、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。必ず保険証(コピー可)を持参すること。
- (13) フィールド種目に出場している競技者が、当該競技者に代わり、競技区域の外にいる者によって録画された以前の試技を見ることができる。また、その録画再生機器や録画映像は録画映像を提供する者がコーチングエリア内にあり、その近くの位置であれば、競技区域内に持ち込むことができる。競技者は録画映像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録音再生機器を手にしても良い。ただし、手渡しが困難な場合は、本連盟が設置する受け渡し用のひも付き袋を使用すること。この際、機器に破損等が生じた場合、本連盟は一切の責任を負わない。
- (14) メインスタンド下の競技場内通路は、関係者以外の立ち入りを禁止する。ただし、混成競技者控室と更衣室を使用する際は通行を認める。
- (15) スパイクで競技場内通路を通行することは厳禁とする。なお、競技場内通路は正面出入口からゴール地点に向かって一方通行である。
- (16) 貴重品の管理は、各大学および個人で責任をもって行うこと。盗難・紛失について、主催者は一切責任を負わない。拾得物があつた場合は、インフォメーション・センターで一時的保管する。
- (17) 開門時刻と閉門時刻は以下の通りである。ただし、予告なく変更する場合がある。また、開門時刻前、閉門時刻後は競技場内に立ち入らないこと。開門前、閉門後に許可なく競技場内に立ち入っている大学を発見したときは、厳重に注意し、その大学に所属する選手のそれ以降の競技の出場を認めない場合がある。

期 日	開門時間	閉門時間
10月18日(土)	8:00	17:00
10月19日(日)	8:00	16:30

3. コーチングエリアについて

- (1) フィールド競技において、競技者は、トラック・フィールド外にいるコーチや監督等の競技者以外の者とコミュニケーションをとることができる。ただし、競技者以外の者による声かけは、メインスタンド、サイドスタンドおよびバックスタンドに設置しているコーチングエリアからのみ認める。それ以外の場所からの声かけは禁止する。
- (2) フィールド競技者とのコミュニケーション以外の目的でコーチングエリアを使用することは禁止する。
- (3) コーチングエリアの場所については、競技場図を確認すること。

4. 出場校受付について

出場校受付は、10月18日(土)の競技開始時刻までにインフォメーション・センターで必ず行うこと。

5. 開閉会式について

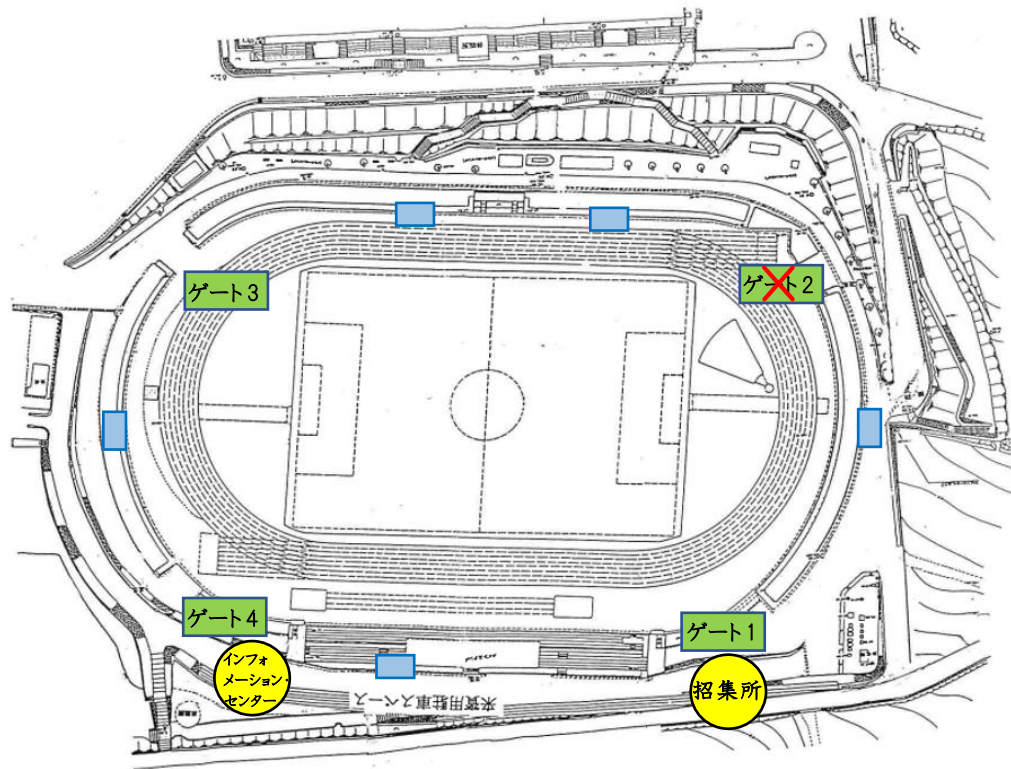
式は実施せずにアナウンスによって開会、閉会を周知する。また、閉式のアナウンスの前に大会の最優秀選手の発表を行う。

6. その他

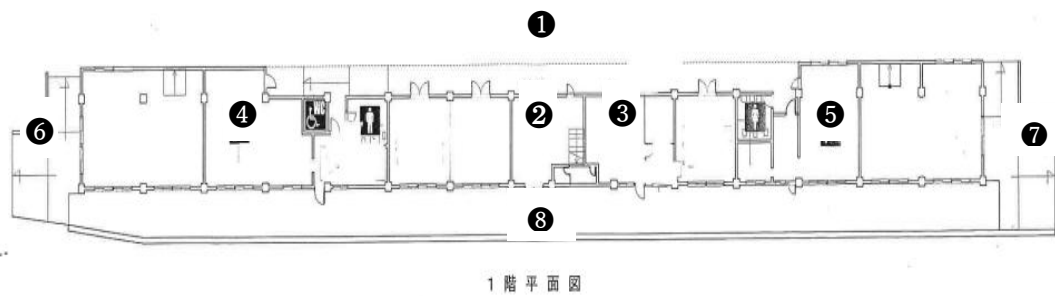
- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を厳守し、個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の参加審査、プログラムの編成および作成、記録発表、公式ホームページその他大会運営および競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 棒高跳用のポールおよびやりの競技場への輸送については、本連盟のホームページに掲載する「やり・ポール輸送について」を確認すること。また、ポールおよびやりの返送に関して本連盟からは斡旋等は行わないため、各自必要に応じて運送業者に委託すること。委託を行う場合、インフォメーションセンターにて伝票等のチェックを行うため、集荷前に必ず伝票をインフォメーションセンターに持参すること。
- (3) 大会に参加する大学は、本連盟が要請する審判・補助員を責任をもって派遣しなければならない。原則として、要請通りの人数を派遣すること。要請に著しく従わない場合は、大会への参加を認めない場合がある。

【競技場図】

I 競技場全体図



II メインスタンド下 室内図



■ コーチングエリア × 使用できないゲート

- ① 大会本部 ② 表彰選手控室 ③ 医務室(競技場事務室) ④ 男子更衣室(使用禁止)
⑤ 女子更衣室(使用禁止) ⑥ インフォメーション・センター ⑦ 招集所 ⑧ 玄関

- ※ 玄関は、抗議や質問がある者、表彰を受ける選手、医務室を利用する者、その他大会役員および競技役員の指示を受けた者のみ通行を許可する。
- ※ 大会運営上の都合により、「第10回九州学生陸上競技新人選手権大会 申し合わせ事項」の内容を変更する場合がある(大会期間中を含む)。
- ※ 以上の内容以外でも特別に競技役員から指示があった場合は、必ず従うこと。